

市民まちづくりフォーラム ～みんなのせんだい未来づくり 2019～

【テーマ4 地域コミュニティの強化の発表】

はい。地域コミュニティの担当をしました、遠藤智栄と申します。よろしくお願ひ致します。

3グループの皆さんが、喧々諤々いろいろ話し合ひしていただきました。

まず1グループの皆さんですね、30年後にはこうなっていたい、というビジョンとしては、まずひとつが若い人の意見を聞いてイベントを企画出来ていると。

ふたつめは地域内に働く場所。働く場所というのが、会社でもあるし、町内会、所謂社会の中で働くという意味の町内会も入っているということでした。

まず若い人の意見を聞いてイベントを企画する取り組みとしては、ICTやSNSを若者がシニアに教える。そしてもうひとつ、Web上で地域コミュニティの紹介や宣伝をすると。ご参加者のメンバーの中からは早速若者からSNSを習いたい、そんな機会があったらいいなと、生の声がありました。

地域内に働く場所をつくるということについては、地域企業と連携して進めていく。盆踊りやお祭りの時に、色んな方々に来ていただきたいということで、交流を図っていくということが話し合われました。

続きまして2グループとしては、30年後の仙台ということではどんなビジョンがあるかと言うと、市民各自が統治者意識を持って、自主的な街づくりに参画している社会。そういった社会になっていると。その為にするということとしては、自分から参画したいと思えるような場を作る。自分からという所がポイントですね。

続いて、話し合ひで決まったことを実際に具現化する為のセンターを作る。例えば、コミュニティデザインセンターという名前がいいんじゃないかというご提案もありました。

こちらの2グループのメンバーからは、私たちのグループはもうひとつの団体みたいな感じですよ、と。30年後も活躍する若者もいるし、人生経験豊富な事務局長もいるということで、とってもまとまってお話しをしてくださいました。

最後の3グループの皆さんですね。皆さんのビジョンとしては、地域の困っている情報がすぐ伝わる仙台。そして助けの必要な人が声を上げられる地域に30年後はなっていると。

その為にペーパー+メールやLINEですね。こういったITも活用しての情報共有が必要だということと、まず1回集まろうぜと、地域で集まろうぜというところが具体的な提案として挙げられました。

以上です。

- ① 若い人の意見を聞いてイベントを企画
- ② 地域内に働く場所がある
(町内会、会社)

- ①に対する取り組み
- ICT・SNS
 - ↳ 若者がこニアに教える
 - WEB上で紹介や宣伝

- ②に対する取り組み
- 地域企業と連携
 - 盆おどり、お祭り

● 市民各自が当事者意識を持ち自主的に街づくりに参画していける社会。



● 自分から参画したいと思えるような場をつくる。



● 話し合いで決まった事を実際に具現化するためのセンター



(例) コミュニティデザインセンターをつくる。

2019.10.14
♡

◎ 地域の困っている 情報 がすぐ伝わる

◎ 助けの必要な人が 声もあげられる地域

ペーパー + メール・ライン
などのITも活用しての
情報共有

LINE

まず1回

~~集まるうぜ~~



地域コミュニティ

① 説明を聞いて、感想や気づいたこと

郊外住宅地や都市
区外エリア以外

結いの会みたいなのが
あったらいいな

町内会担い手つくり

話し合いのポイント
↓
話し合い参加の難易度

結いの会が成功例
↓
複合的組織づくりの
促進

住民の高齢化に
対応

自治会文化に根ざした組織
・自治会の役割が変化に
伴って担い手に期待が
高まる
・結いの会は100%の
参加が目標

・個人情報がある
・ICTの発達

町内会の20~50代
くらいで集まりが少ない

イベント増加
その中でのつながり方

② 未来、こうだったらいいな!

祖父母や子どもも参加でき
る会? (自由に)
下

何も若者に頼りすぎず、
負担の少ないコミュニティ。

自治会総会出席者が
10%以下では困るから
別の場面で参加の
機会を

地域での団らん会
—

地域内に
小学校、中学校が
あるといい。

1. 高齢者と地域を繋ぐコミュニティ
(介護、認知症、災害)
2. 子供で地域を繋ぐ
3. 高齢者と若者の交流

直接行かなくても、ネット
で参加できるコミュニティ。
(ZoomやL2L) 下

③、②になるための取り組みアイデア (市民、団体、企業、学校、市役所など)

いまのものを活用できる?
に活用できる受け入れ
会等が限られる

地域コミュニティ

① 説明を聞いて、感想や気づいたこと

ゴミ集積場と公園の道の
行き来が際々多いので
Tシャツ、ピカピカ、(いる
登下校の子にも声かけ
している)

お前は話し合う
ことが大事

9. 郊外田舎、中山間地
とはどの地域を指す?

・横断的の取組解決
で「ごま」とある。
・おが、町内会の各点の
は、おが、話し合い不足
とあると感ぜられ

郊外在住
住をとたら
生活できるか?

働き盛りの若い世代の参加
活動の事例は?

おが勤換でありがた
いありおが勤換でありがた

地域コミュニティの意義は定まらずに活動
です。でも今後継続に決ま
り、プロジェクトに参加する人
数は生活から関わりが深
まり多くなるからプロジェクトに参加
できる体制、制度作りが必要

・集約の機会に
積極的に
参加しよう
・おがを見直さ
ない

・近所が多
く合っている内
- グラント近所
の話し
・一回の話し
が効果

② 未来、こうだったらいいな!

花咲く町づくり。
町内の新集会所
あり。地区に公園
あるといい。

入りやすい会。
→おがにでき上、おが
所に入るのに苦勞
(おがで)

コミュニティ全体か
一つの家族
互いに愛情と関心を
持ち合える

河川に、おがの本を
植えたい見たい

・子供(老人)の見守り
声かけをして(おが)
→子供が小さい頃
おがからなので

市民が主体的に
コミュニティをつくる

名取川、成瀬川の河川に
散歩路・スポーツ施設
も作り楽しく・健康的
おがまちづくり

みんなのものも
共有
(例)カーシェアリング

もの、スキル、子育て
何でも共有・分かち合
協力、相談できると
いい。ニーズも聞き合
話し合

③、②になるための取り組みアイデア (市民、団体、企業、学校、市役所など)

・おが進行、目標、おが地
共有する時は、おが地
- おが地、おが地、おが地
おが地、おが地、おが地

将来のビジョンを
おがの基礎的な思想
おがの基礎的な思想
おがの基礎的な思想
おがの基礎的な思想

町内会(おが)が必要だが
出席者が少く、おがの
なりきり、おがの
おがのアドバンス

市民、住民の要求を聞く
ため、おが、要求を実現
するための住民組織を
制度化する。

地域コミュニティ
小さいチームで話し合い、
おが地



地域コミュニティ

① 説明を聞いて、感想や気づいたこと

市の取り組みの内容
一般市民に知らせて
この1区(市町村)の
こと

手をあげられた地域
住民の対応で考えが必要

地域の居場所
づくり
(大倉の場合倉庫に
なった)

不要 → ムダ → 1/2
と思われない?

みんな資源と使った
各々の地域、他地域の
資源は知ってますか?

・担い手の課題を感じています。
・3. 心配していることは、まさに若い世代が思っていることだと思います。(知ってもらう事が大切)

経済的
年100万円以上
の絶対力

・担い手の高齢化
・回復効果が乏しい

経済的なもの
収入自由さか
あるとやりやすい?

仕事しながらの活動
は難しい。

② 未来、こうだったらいいな!

コミュニティ活性化の
町内会、PTA、ボランティア
社協の連携の
あり方

様々な世代(特に下
世代)から「この住民
よからぬ」と思える地域

協働関係
ビジョンを共有し
支え合っていく地域

取り残された人
状態を目指す地域

気軽に参加できる
感じ (欠席してもOK)

・地域の中心で
みんなが当たり前
に居る感じ。
気軽に簡単だと思える

見守りの必要がある地域
の人が立ち寄って声をかけられ
たらいいなあ。

高齢化にともない
ひとり、ひとりの
意見を集約する

地域の活動内容が
全家庭に行き渡る

③、②になるための取り組みアイデア (市民、団体、企業、学校、市役所など)

地域の人口構成学
将来見通しを皆で共有し
想像力を働かせて話し合う
こと

町内会
・「町内会」自体を持つ
・ふるさと産物向上プロ
ジェクトメンバーの増員

回覧板に意見を
書いて町内会
とりまとめる

地域団体(町内会等)
17. 行事だけでなく普段の
事業(見守り等)も一緒に
やる

・輸着別でも出来る
様に簡便にする
・地域内行事が
わかりやすく整理する

見守ってほしい人、その家族の
希望を聞く。
・担い手の最低限の知識を
広める。
・子育て世代を助けた
地域の人達がいること
を知ってもらう